

令和6年度藤井寺市地域部活動あり方検討委員会 会議録

会議の名称	令和6年度 第3回藤井寺市地域部活動あり方検討委員会
開催日時	令和6年11月1日(金) 午後5時30分から
開催場所	藤井寺市役所 3階 305会議室
出席者	<p>委員： 藤井寺市スポーツ推進委員：山根 義文  藤井寺市校長会：北村 敦士  藤井寺市教頭会：黒田 伸隆  中学校教員代表：中村 和昭  市民生活部協働人権課：龍見 美行  教育部教育総務課：中村 真也  教育部学校教育課：岸 廣幸  教育部生涯学習課：杉多 克一</p> <p>(順不同・敬称略)</p> <p>事務局： 教育部教育監：寺田 剛  学校教育課主幹：富田 智子</p>
欠席者	藤井寺市体育協会加盟員：瀧ヶ平 明弘、保護者代表：堂脇 友美 教育部スポーツ振興課：八木 淳一
会議の議題	地域移行に向けて
会議の成立	委員11名中、過半数(8名)の出席があり、藤井寺市地域部活動あり方検討委員会規則の規定により成立
傍聴者	0名
会議録の作成方法	要点記録
記録内容の確認方法	会議の議長の確認を得ている
公開・非公開の別	公開

## ○事務局

皆さん こんにちは。

只今より、令和6年度第3回藤井寺市地域部活動あり方検討委員会を開催いたします。

開会に先立ちまして、委員の皆様方には、次の点についてご了解いただきますようお願いいたします。

本委員会について、原則公開となっており、本日の傍聴者は0人です。

次に本日の内容につきましては、議事録を作成いたしますため、録音させていただきますので、ご了承願います。

最後に、本日の委員会の内容の中で個人のプライバシーに関する内容が含まれた場合は、守秘義務も含め、適切に対応していただきますようお願いいたします。

以上のことについて、委員の皆様方には、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、これより、委員長と副委員長に司会進行していただきます。

## ○山根委員長

それでは、次第2「地域移行に向けて」です。

「次年度の取組みについて」、事務局お願いいたします。

## ○事務局

まずは、第3回の開催が遅くなり申し訳ございませんでした。前回の会議を受け、次年度の取組みについて庁内にて検討を行い、その結果についてご説明いたします。

まずは、第三中学校のバドミントンについては、次年度の地域移行化をめざしておりましたが、外部指導者の配置や資格取得、予算面などの多くの課題がある中で、次年度中の地域移行化を行うのは難しいと判断しました。次年度は第三中学校に部活動指導員を配置し、単独指導、単独引率を行うことで教員の部活動指導の負担を軽減してまいります。すでに指導者候補については現在配置している外部指導者からの紹介で、事務局でも面談を実施しております。また、配置できた部活動指導員が令和8年度に向けて地域移行の受け皿となりえるのか、次年度以降に協議を行ってまいります。

また、現在合同練習を実施している剣道部をはじめ、その他の部活動についても、地域移行のニーズや指導状況、受け入れ団体や人材などが確保できるのかを学校や地域団体などと連携し、引き続き地域移行や地域連携について検討してまいります。

さらに、教員の働き方改革の推進として、単独指導や単独引率を原則とした部活動指導員の配置拡充を図ってまいります。現在各校にて配置したい部活動の希望調査を行っており、必要に応じて予算要求や人材確保を行ってまいります。

事務局からは以上です。

アルティメット部について、本日スポーツ振興課の八木委員が欠席されていますので、代わりにお伝えさせていただきます。机上のチラシをご覧ください。令和6年度のフライングディスク普及事業実施に向けて、関係部局等と調整を重ねてきた結果、チラシの内容で各種事業を進めていくことが決定しました。

フライングディスク教室については、10月号広報でそれぞれお知らせするとともに、市のホームページやチラシ、ポスター等によるPR活動も行っています。

また来年度につきましては、今回実施した反省点を踏まえ、さらなる充実化を図っていきたいと考えております。以上です。

○山根委員長

取組みの進捗状況について報告がありました。

何か質問・ご意見等がありますか

○中村委員

現在実施されていますアルティメット教室の参加状況はどんな状況ですか。

○山根委員長

私から報告いたします。30日は雨のために中止になってしまいましたが、10月2日の第1回、10月16日の第2回を実施しました。小学校5・6年生を中心に1回目が10名、2回目が8名の参加でした。小学校で実施しているドリームプレゼンターで教えてもらった児童で、フライングディスクに興味のある児童が参加していました。第2回はゲーム形式のフライングディスクをしました。彼らが中学生になったときに、部活動の中心となってくれるのではないかと感じました。

○龍見委員

1回目と2回目は同じメンバーですか。参加した子どもたちの感触はどうでしたか。

○山根委員長

同じメンバーです。興味をもっている子どもたちが集まっていることもあり、非常に楽しそうでした。次回を楽しみにしている子どもたちが多いようです。

○黒田委員

今後は試合形式ですめるのですか。

○山根委員長

第1回はディスクの投げ方、基本的な動作等の練習、その次は3人4人でパス回しを何回できるか等の練習をしていました。今日はこんな目標でいこうというパネルを準備し、小西さんがうまく指導しているのがありますが、すごく上達が早いという報告を受けております。今の日本代表は大学に入ってからアルティメットをする人が多いですが、半年かけてできるようなことを、もうすでにできていたので楽しみだと言っていました。

部活動ができたら、ドリームプレゼンターで体験した子どもたちがいるので、おそらくそれなりに入部してくれるかと思っていますが、ただ指導者が確保できるのかが懸念事項です。その件に関して、事務局ではどのように考えていますか。

○事務局

今は体験ですが、費用面や指導者の確保、活動場所、ほかの部活動でもそうですが同じような課題があります。競技人口が少ないので指導者の確保も大変ですので、そんな方がいたらつながってきたいです。

○山根委員長

他にありますか。

○北村副委員長

これなら藤井寺でも導入できるのではないかと、という全国の好事例等を次回までに集めていただいて、教えていただきたいと思います。やはり、他市での取組を聞いて、期待している教員もいます。

○事務局

国も3年間かけて、まずは休日移行という話をしていましたが、現在その温度感も変わってきているようです。やはり各地域の実情に応じて対応しているという状況ですので、例えば地域に企業のチームがあるようなところは、そこと協力して移行していますが、藤井寺市ではそういう企業がありません。なかなか子どもたちの受け皿になっていただけるスポーツ団体等がない状況です。しかし、子どもたちにはいろんな経験をさせてあげたいという思いは一緒だと思いますので、限られた中にはなりますが、どんなことができるのかということ、委員の皆さまにも考えていただければと思います。

続きまして、次第の3「事務連絡」についてです。

事務局お願いします。

○事務局

本日はお忙しい中、貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。

それでは次回の日程調整をさせていただきます。

1/31(金)午後5:30からでどうでしょうか？

それでは、1/31(金)午後5:30で開催いたします。

開催場所が決まりましたら正式なご案内を送付させていただきます。

○山根委員長

これで、本日の案件はすべて終了いたしました。これを持ちまして「令和6年度 第3回 藤井寺市地域部活動あり方検討委員会」を閉会といたします。